

船舶事故等調査報告書

平成21年12月24日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009那第38号	
事故等種類	運航不能（機関損傷）	
発生日時	平成21年2月6日 15時00分ごろ	
発生場所	沖縄県宮古郡多良間村水納島灯台から真方位225° 4.0海里付近 (概位 北緯24° 42.0′ 東経124° 39.0′)	
事故等調査の経過	平成21年5月22日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（那覇事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	漁船 ^{かずふく} 和福丸、1.95トン	
船舶番号、船舶所有者等	ON3-25970（漁船登録番号）、個人所有	
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定	
死傷者等	なし	
損傷	なし（ボルトの緩みを締め直した。）	
事故等の経過	本船は、船長1人が乗り組み、石垣漁港を発して航行中、平成21年2月6日15時00分ごろ、多良間島南西沖において、舵棒に舵を取付けるボルトが緩んだため、舵が効かなくなった。海上保安庁に救助を求め、巡視船にえい航された。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北東、風力 2、視程 約25km	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり あり なし 本船は、舵の点検・整備が適切に行われていなかった可能性があると考えられる。
原因	本インシデントは、本船が多良間島南西沖を航行中、舵棒に舵を取り付けるボルト2本が緩んだため、舵が効かなくなったことにより発生した可能性があると考えられる。	